**家庭科の食生活領域における効果的な指導方法**

〇東北花子・教育一郎（＊＊大学），家政太郎（△△高等学校）

**目的**：発表の要旨執筆要領は以下のとおりである。題名（主題・副題），発表者氏名（複数の場合，主たる発表者に○を付す），所属，本文（目的，方法，結果，考察など），脚注，引用文献などを含み，図・表・写真は含めない。１ページの仕様は，A4版を縦に使用し，横書き，段組なし，10.5ポイント，１行47文字，45行とする。1行目に主題（10.5ポイント・太字）を記載する。

**方法**：2行目に副題を記載（10.5ポイント・太さは普通）し，副題がない場合は2行目をあける。3行目に発表者氏名と所属を記載する。以上は中央揃えとする。4行目はあける。5行目から本文（目的，方法，結果，考察など）を記載する。「目的」等の見出しと本文は「：」で区切る。見出しは10.5ポイント・太字とし，本文は10.5ポイント・太さは普通とする。本文の文字数の目安は約780字とする（見出しを含む）。題名から本文まですべてを21行以内に収めること。超過した分は掲載されないので注意する。

**結果および考察**：日本語のフォントはMS明朝を原則とする。英語のフォントはCenturyまたはTimes New Romanが望ましい。ただし，本文中で特に強調が必要な部分や公式等には他の字体を使用してもよい。原稿のマージンは，上部25 mm，下部30 mm，左右それぞれ25 mmとする。発表者資格は，「日本家庭科教育学会東北地区会」会員とするが，共同発表者は会員以外でも可とする。発表申し込みは，当該年度の事務局へE-mailで申し込む。

**結論**：申し込みメールのタイトルは「発表申し込み（発表者氏名）」とする。メール本文に「①氏名（発表者全員），②所属（発表者全員），③代表者の連絡先（住所，電話番号，E-mailアドレス），④発表演題」を記載する。要旨は添付書類とする。（目安は780字）。

**家庭科の衣生活領域における効果的な指導方法**

－＊＊＊＊と＊＊＊＊＊との比較から**－**

〇山田花子・海田太郎（○○大学），森田一郎（△△市立□□小学校）

**目的**：ああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああああ。

**方法**：いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい。

**結果および考察**：ううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううう。

**結論**：ええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええええ（目安は780字）。